

第1編

調査研究の趣旨と経過

第1編 調査研究の趣旨と経過

第1章 学校災害防止調査研究委員会の設置

I 設置の趣旨

独立行政法人日本スポーツ振興センター第二期中期計画に定める学校安全支援業務の実施に伴い、平成20年6月、センターに外部の有識者とセンター職員で構成する「学校災害防止調査研究委員会」（以下「委員会」という。）が設置された。

【独立行政法人日本スポーツ振興センターの第二期中期計画より抜粋】

センター内部に外部の有識者を含めた「学校災害防止調査研究委員会」（以下「委員会」という。）を設け、災害共済給付業務の実施を通じて得られた学校の管理下の災害事例を分析し、学校における特徴的な災害について、その発生の防止方策について調査・研究を行い、学校やその設置者に成果の活用を働きかけ、当該災害の減少を図る。

II 組織

1 委員構成

本センター職員のほか、委員として外部有識者7名（学識経験者5名、学校関係者2名）が任命され、文部科学省からアドバイザーが選任された。

各委員、アドバイザーは以下のとおり。

2 委員会委員

◎は委員長【平成24年3月1日現在】

氏名	所属・役職
◎戸田 芳雄	東京女子体育大学 教授
安井 利一	明海大学 学長
渡邊 正樹	東京学芸大学養護教育講座 教授
荻須 隆雄	玉川大学教育学部 教授 ・ 教職センター長
永山 満義	東京都世田谷区立桜小学校 校長
渡部 佳代子	東京都江東区立元加賀幼稚園 園長
西田 佳史	(独)産業技術総合研究所 デジタルヒューマン工学研究センター 上席研究員
杉本 裕	独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部 業務推進役
堀越 修	独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部 安全情報課長

(敬称略)

《アドバイザー》

【平成24年3月1日現在】

佐藤 浩樹	文部科学省スポーツ・青少年局 学校健康教育課安全教育調査官
-------	-------------------------------

(敬称略)

第2章 調査研究のテーマ設定と経過

I 調査研究のテーマ設定

平成11年度から平成21年度の11年間で小学校等の死亡事故は277件に上るが、このうち半数以上の147件は突然死であり、その他の130件は突然死以外の事由による死亡（外因死）である。

この期間の小学校等に設置された遊具により、災害共済給付を行った死亡事例は10件である。

<表1> 平成11年度～平成21年度の小学校、幼稚園・保育所の外因事故件数・割合

	犯罪行為	プールでの溺水	校舎等からの転落	物が喉につまる	河川や池等での溺水	列車による轢過	遊具による	側溝に落ち溺水	物等に当たると倒れてきた	雷・落雪・熱中症による	気象条件（落雷・落雪・熱中）による	自死による	転倒による	自動車事故による	食中毒による	合計
小	17	16	17	6	9	12	5	7	5	2	4	2	2	2	0	104
幼	2	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	6
保	1	1	0	8	3	0	2	1	0	2	0	1	0	0	1	20
合計	20	17	17	14	12	12	10	9	5	4	4	3	2	1	1	130
割合	15.4%	13.1%	13.1%	10.8%	9.2%	9.2%	7.7%	6.9%	3.8%	3.1%	3.1%	2.3%	1.5%	0.8%	100%	

<表2> 遊具死亡事故事例（平成11年度～平成21年度）

No	学校種	学年・年齢	性別	遊具	発生状況
1	小	1	男	ゆりかご型ぶらんこ	ぶらんこに胸部を強打する
2	小	3	男	ぶらんこ	ぶらんこ周囲の防護柵に腹部を強打する
3	小	2	男	縄吊り橋	遊具のロープに宙吊りになる
4	小	1	女	10人乗りぶらんこ	10人乗りぶらんこから落下して頭部を打つ
5	幼	4	男	舟型ぶらんこ	舟型ぶらんこの下に頭部が入り込む
6	小	1	男	雲てい	足を滑らせ雲ていに首を吊った形で引っかかった
7	保	4	男	登り棒	登り棒で手を離してしまい、転落する
8	幼	6	女	すべり台	すべり台で首吊りの状態となり、意識不明となる
9	保	1	女	すべり台	すべり台でミニトマトをのどに詰まらせる
10	幼	3	女	すべり台	すべり台にポンチョが引っかかり、首をつる

※「学年・年齢」は、小学校は学年、幼稚園・保育所は年齢を表す。

遊具事故の詳細として、事故件数については、平成21年度小学校の休憩時間中に26,901件、幼稚園の保育中に4,651件、保育所の保育中に5,904件発生しており、これは小学校の事故の約半数を占める休憩時間中の事故の13.2%、幼稚園の事故全体の22.9%、保育所の事故全体の17.9%を占めるとともに、事故発生の場所別に見た場合、小学校では廊下18,626件、階段16,079件での事故よりも多く、幼稚園・保育所（以下「幼・保」という。）でも遊戯室での事故（幼稚園：1,296件、保育所：2,210件）を大きく上回っている。

＜表3＞ 平成21年度の事故件数・遊具事故件数・割合

	事故件数	遊具 事故件数	割合
小学校	203,971	26,901	13.2%
幼稚園	20,351	4,651	22.9%
保育所	32,981	5,904	17.9%

※「事故件数」は、小学校は休憩時間中のみの件数。幼稚園・保育所は、全て（通園中含む。）の件数。

また、事故による負傷の程度を見た場合、小学校の遊具事故における骨折の占める割合を小学校の事故全体に占める骨折の割合と比較すると、全体では骨折の割合は22.8%であるが、遊具事故では27.3%であり、幼・保でも同様の傾向が見られ、負傷の程度が重い傾向にある。

＜表4＞ 骨折発生率の比較

小学校					幼稚園				保育所			
	遊具事故		全 体		遊具事故		全 体		遊具事故		全 体	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
骨折	7,336	27.3%	90,910	22.8%	1,096	23.6%	3,258	16.0%	1,117	18.9%	4,009	12.2%
合計	26,901	100.0%	399,588	100.0%	4,651	100.0%	20,351	100.0%	5,904	100.0%	32,981	100.0%

その他、センター主催の第44回学校安全研究大会（平成21年2月5日～6日）の参加者に今後のセンターでの事故防止の調査研究主題に関するニーズ調査（アンケート）を行ったところ、その結果として「学校の施設・整備、器具・用具における災害防止」、「休憩時間中における災害防止」のニーズが多いことが判明している。

このため、固定遊具における事故の現状を把握し、防止のための管理と指導について調査研究を行うことが重要であり、学校災害防止調査研究委員会テーマとして、「学校における固定遊具による事故防止対策」が設定された。

研究テーマ 『学校における固定遊具による事故防止対策』

II 調査研究の経過

今回の学校災害防止調査研究委員会の調査研究期間は平成23年1月から平成24年1月までとし、委員会を7回開催した。

本調査研究の進め方としては、まず固定遊具における負傷・疾病の実態について把握することからはじめ、本センターが行っている災害共済給付事業から得られる事例を基に「学校における固定遊具による事故の現状分析」を行った（分析結果についてはP8以降に示す）。

「学校における固定遊具による事故の現状分析」は平成22年度（2010年度）に災害共済給付を行った小学校、幼稚園・保育所（3～6歳児）の遊具による事故40,731件を分析の対象と

する方法で行った。

データの分析視点としては、「学年別」「男女別」「傷病名別」「部位別」等の観点から発生件数、発生割合を分析し、固定遊具での負傷・疾病の発生状況（学年別、男女別）、発生要因（主体要因、施設・設備の要因、人的環境要因、物理的環境要因）、その事故結果（傷病名別・部位別）に焦点をあてることとした。なかでも要因別分析においては災害報告書の「災害発生の状況欄」を使って事故別、事故前の行動別及び事故の要因別に分け類型ごとに集計、分析をした。

次に、学校等における固定遊具の設置状況を把握するために、支所を通じて各教育委員会へ小学校等における設置台数調査を実施した。調査方法は、市区町村教育委員会等へ管轄の小学校等の遊具の設置台数についてデータの確認を行うこととし、データの提供を依頼した結果、154設置者からデータ（小学校1,817校、幼・保891園）を提供していただくことができた。

また、学校安全（安全教育、安全管理、組織活動等）の実例を把握するため、遊具の事故を契機として固定遊具に対する事故防止対策を施している小学校等に取材調査を行うこととした。取材調査に当たっては学校の設置者及び学校の協力を得て、センター各支所職員が往訪し、実状調査を実施した。

年月日	委員会名	議題
23.01.21	学校災害防止調査研究委員会第一部会	<ul style="list-style-type: none"> ●調査研究テーマの説明 ●遊具事故の現状報告 ●調査研究報告書について ●調査研究スケジュール
23.03.23	第1回学校災害防止調査研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●調査研究計画（案）について
23.06.03	第2回学校災害防止調査研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●データ分析結果の報告 ●学校の事故防止対策事例収集方策の検討 ●事故防止のための留意点の検討 ●産総研、センター共同研究報告
23.08.02	第3回学校災害防止調査研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●固定遊具設置台数調査報告 ●事故防止対策事例の調査報告 ●データ分析結果の報告 ●事故防止のための留意点の検討
23.09.06	第4回学校災害防止調査研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●固定遊具設置台数調査報告 ●事故防止対策事例の調査報告 ●データ分析結果の報告 ●事故防止のための留意点の検討 ●報告書の構成及び内容の検討
23.10.24	第5回学校災害防止調査研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●調査研究報告書の構成及び内容の検討
23.11.28	第6回学校災害防止調査研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●調査研究報告書の構成及び内容の検討
24.01.20	第7回学校災害防止調査研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●調査研究報告書の構成及び内容の承認